

西深津学区まちづくり推進委員会

委員長 山岡 孝幸

（問合せ先）084-924-6009（西深津公民館）

事業内容

- (1) にしふかつ文化祭【展示のみ】（10月16日・17日）
- (2) 人権週間記念事業【展示のみ】（12月5日～11日）
- (3) とんど行事【とんど焼き】（1月14日）
- (4) 蓮池川清掃（5月～10月 5・6・8・9月新型コロナ感染防止の為中止。6回計画中2回実施）
- (5) 生きがいづくり事業（通年）
 - ①レクでいきいき仲間づくり（7月15日・11月9日）
 - ①ピンポン②グラウンドゴルフ
 - ②まちづくり講演会「お互いさまミーティング in 西深津」PartⅡ（3月12日）
 - ③フラワーアレンジメント講座（12月25日）
- (6) こども土曜クラブ（年間11回予定，8回実施）
- (7) 学区防災研修会（11月28日）
- (8) 学区自主防災（消火）訓練（3月13日）
- (9) コミュニティ育成事業（通年 学区内13町内会）
- (10) まちづくり推進委員会運営事業（通年 公民館）



にしふかつ文化祭



とんど祭り



学区自主防災訓練

成果

新型コロナウイルスの感染力の強いオミクロン株やBA-2など変異種や派生種の登場で、2020年以上に「まん延防止等特別措置」等行動制限が発令されたが、行事は時期を延期したり、人数制限を設けるなどして取り組めるものは実施した。

課題

昨年度の取組の中で、小学校PTAなど子育て世代を巻き込んで、「とんど作り」など準備の段階から参加してもらった。今後も各町内会・自治会の中でも、子どもや子どもの保護者世代の若い世代を巻き込んでおこなえる行事等を考えていく必要があるのではないか？町内会・自治会加入へとつなげるためにも。

課題解決に向けて

会議などで意見を交流し意識統一を図る必要があるものも事務局会レベルの少人数での会議となり、それを書面等で知らせるといった形をとらざるを得ない場合もあった。リモート会議など導入するまでには時間も要する。

「協働のまちづくり」とは、どういうものなのか？それは、どのような「まちづくり」を目指しているのか？ということを改めて考えさせられる一年だった。

好きです西深津・絆を結ぶまちづくり



We Love Nishifukatsu !

にしふかつ
しあわせ あふれる
ふるさとに
かがやく えがお
つなごう きずな

お互いさま活動（生活支援活動）『お互いさまミーティング in 西深津』

西深津学区では、独居高齢者や高齢者夫婦の世帯が増えてきている状況から、日常生活の中の“ちょっとした困りごと”を住民どうしのつながりで解決する仕組みづくり（生活支援活動）を模索しています。2021年度は、庄原市社会福祉協議会の上田会長の講話や市内の先進的に取組まれている学区の事例などをうかがいました。コロナ禍であるため、人数制限を設けたり、グループワークがおこなえなかったりしましたが、子育て世代も“ネットワーク”の呼びかけもあり、若い世代にも関心を持っていただくことが出来ました。

今後は、「座学から行動へ」を目標にし、5年後・10年後を見すえた取組みとしていき、西深津が高齢者も小さな子どもも、みんな明るく安心して暮らせる“ふるさと”西深津づくりに取組んでいきたいと思えます。

すべては子どもたちのために ~こども土曜クラブ~

学校5日制に伴って、「土曜日の子どもたちの居場所づくりを」という趣旨で、2002年からスタートした「こども土曜クラブ」は、まちづくり推進委員会主催・各団体主管のもと、学校とも連携して取り組んでいます。コロナ禍の2021年度も“できる”形を工夫しながら取り組みました。



7/17「蓮池川自然体験」



8/5「牛乳パックを使って工作」



9/25「学区ピッカピカ大作戦」



10/30「ソフトバレーボール大会」



11/27「クリスマスリース作り」



12/25「しめ縄づくり」